

私たちの誓い
私たち住民は、「安全
で安心して暮らせる
街」を作ります

～ダイヤモンド～ まちづくり通信

第34号
令和3年3月1日
ダイヤモンドまちづくり連絡協議会

大きな災害での教訓と慰霊を忘れずに

～被災地の今を見つめて～

26年前の1月17日は阪神・淡路大震災、10年前の3月11日は東日本大震災、5年前の4月14日は熊本地震が発生いたしました。どの地震でも多くの尊い命を奪われ、大きな被害にも襲われました。復旧するのに多大な時間を要しています。ふれあいセンターでは、追悼の意を表す「竹灯籠」<阪神淡路大震災の追悼>を設置しました。



<東日本大震災の追悼>

防災については、まちづくり連絡協議会でも取り組んでいる活動の一つですが、今年も皆さんと手を携えていきたいと思ひます。



災害が発生した時の備えを！

一普段から無理なく、いつでも使えるように一

災害に備えておいた方が良い物があります。次のようなく非常持出品>です。

- ・ 応急医薬品等…消毒液やマスク、ガーゼ
- ・ 非常食、飲料水…火を通さずに食べられるもの
- ・ 貴重品…現金、通帳等
- ・ 衣類…タオル、軍手、レインコート
- ・ 生活用品…ライター、ろうそく、懐中電灯等

他にも色々あると思ひますが、人それぞれ、自分に合ったものを準備するとよいでしょう。

災害が起こって、3日間を自力で過ごせることを目安に準備しておくと言われます。試しにこれらのものを準備してちょっとした家族キャンプをやってみるのも良いかもしれませぬ。

交流センターの機能充実

これまで「まちづくり連絡協議会」の事務局の仕事をつれあいセンターで行っていましたが交流センターにパソコン等を設置し、事務作業ができるように整備しました。また、これからは事務局会等の打ち合わせは「交流センター」で行うこととなります。



松尾功子校長先生がご退職です 「お世話になりました」

中学校に続く桜の坂道。3階の窓から見える海原をさかかう船。心豊かな子どもたちと保護者の皆様。子どもたちに声をかけ守ってくださる黄色いコートの見守り隊。町のどこかで出会う青パト。何でも聞いてくださった民生委員さん。みんなのために動くまちづくり協議会の皆様。学校を大切に考えてくださる地域の皆様。美しいものばかりに囲まれた2年間。宝石のような思い出は、心の中できらりと輝いています。

今、この場所を去る時が迫り、泣きたい気分です。お世話になった方々は数知れず。こんな校長でも大事にもりたててくださった皆様のご恩は、一生忘れませぬ。本当にお世話になりました。皆様、お元気で。



南長崎小学校校長

松尾 功子

2月の青パト隊の活動

2月22日現在

活動日数 13日

活動回数 17回

災害に備えて

保存版

チェック

5

ポイント

わが家は 日ごろから 災害に備えて います

災害は突然襲ってきます。
そんなときでも、あわてずに済むよう、
日ごろから災害に備え、家族でよく話し合い
各項目をチェックしておきましょう。

1 家族1人ひとりの 役割分担をチェック

予防対策上の役割と災害時の
役割の両方について日ごろ
から話し合っておきましょう。



2 家屋の危険個所を チェック

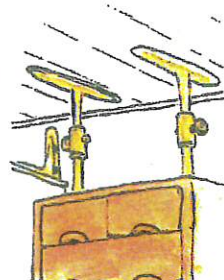
家の内外をチェックして危険個所
があれば修理
や補強をして
おきましょう。



3 家具の安全な配置や 転倒防止をチェック

家具の配置換えなどをして
家の中に安全なスペースをつく
っておきましょう。

また、家具の転倒や
落下を防ぐ方法につい
ても考えておきましょ
う。



4 非常持出品の チェック

家族構成を考えながら必要な
品がそろっているかをチェック
しましょう。

また、定期的
に新しいものと
取り替えておき
ましょう。



5 避難時の連絡方法や 避難場所・避難経路 をチェック

災害時の連絡方法や避難場所・
避難経路の確認をしておきま
しょう。

